



平成 30 年 8 月 10 日

各 位

会社名 株式会社 サンゲツ  
代表者名 代表取締役 安田正介  
社長執行役員  
(コード番号 8130 東証・名証第一部)  
問合せ先 財務経理部長 助川達夫  
(TEL. 052-564-3333)

(訂正)

「2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成30年8月3日に発表いたしました「2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、記載内容に一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

平成30年8月3日の「2019年3月期 第1四半期決算短信」公表後の四半期報告書の作成過程におきまして、記載内容に一部誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

なお、今回の訂正による連結財務諸表への影響はありません。

2. 訂正の内容

訂正箇所には\_\_\_\_(下線)を付して表示しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

(訂正前)

(海外事業)

北米市場を担うKoroseal Interior Products Holdings, Inc.においては、粘着剤付化粧フィルム「リアテック」の販路拡大に努め、ホテル物件などへの納品が進みました。中国市場を担う山月堂（上海）装飾有限公司においては、現地デベロッパーなど、より幅広い顧客への営業活動を展開し、壁紙や床材の採用が好調に推移しました。また、当第1四半期より業績の連結対象となったGoodrich Global Holdings Pte. Ltd.においては、サンゲツグループとのシナジー効果を高める仕組みづくりに努めました。この結果、海外事業の売上高は5,283百万円（前年同期比21.0%増）、営業損失は36百万円（前年同期は営業損失160百万円）となりました。

(訂正後)

(海外事業)

北米市場を担うKoroseal Interior Products Holdings, Inc.においては、粘着剤付化粧フィルム「リアテック」の販路拡大に努め、ホテル物件などへの納品が進みました。中国市場を担う山月堂（上海）装飾有限公司においては、現地デベロッパーなど、より幅広い顧客への営業活動を展開し、壁紙や床材の採用が好調に推移しました。また、当第1四半期より業績の連結対象となったGoodrich Global Holdings Pte. Ltd.においては、サンゲツグループとのシナジー効果を高める仕組みづくりに努めました。この結果、海外事業の売上高は5,283百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益は112百万円（前年同期は営業損失160百万円）となりました。

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(訂正前)

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア事業	エクステリア事業	照明器具事業	海外事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	28,524	3,699	754	5,283	—	38,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94	—	—	—	△94	—
計	28,618	3,699	754	5,283	△94	38,261
セグメント利益又は 損失(△)	1,162	83	△65	<u>△36</u>	<u>139</u>	1,283

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア事業	エクステリア事業	照明器具事業	海外事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	28,524	3,699	754	5,283	—	38,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94	—	—	—	△94	—
計	28,618	3,699	754	5,283	△94	38,261
セグメント利益又は 損失(△)	1,162	83	△65	<u>112</u>	<u>△8</u>	1,283

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以上